

## 令和4年 4月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和4年4月1日（金）午前11時00分～11時45分  
場所 市役所2階 第1委員会室  
出席 市政記者クラブ10社

### 会見内容

#### 1. はじめに（2項目）

##### 1. 新年度の抱負

- 新年度を迎え最初の記者懇談会となります。  
改めましてよろしくお願いいたします。
- 今朝、新採用職員の辞令交付を行い、新しい仲間を迎えながら、また市役所内の異動もありながら、新しい体制でスタートしました。
- 職員と共通の意識を持ちながら、市民と一体となった新年度のまちづくりをしっかりと進めてまいります。
- 先月には議会も終わり、新年度の予算を議決いただきました。
- 予算のポイントは、新型コロナウイルス感染症の影響や基幹産業への打撃等を踏まえ、地域経済の「回復」と「成長」を目標とし、「鉏路市まちづくり基本構想」の重点戦略を踏まえて、
  - ・アフターコロナの働き方を見据えた環境整備
  - ・地域経済を支えるまちづくり
  - ・誰もが住みやすさを実感するまちづくりという3つの政策テーマを設けて、予算の重点化を図ることとしました。
- この中で、都心部の賑わい創出のため、鉄道高架化を基本とした「鉏路駅周辺整備推進事業」に取り組みます。これはまさに、車優先から公共交通、つまり人を優先するまちづくりに繋がってくるものでございます。
- その他、市内中小企業・小事業者への支援のほか、子育て環境の整備を進めてまいります。
- 世界の情勢も踏まえながら、コストプッシュ型の物価上昇やコアコアCPIもマイナスである状況を踏まえ、展望が開けるように進めてまいります。

##### 2. 新型コロナウイルス感染症について（「まん延防止等重点措置」の解除について）

- 続きまして、「まん延防止等重点措置」の解除についてです。
- 3月21日（月曜日）をもって、「まん延防止等重点措置」が解除されたところです。
- 3月22日（火曜日）から4月17日（日曜日）まで「年度末、年度始めにお

ける再拡大防止対策」期間として、北海道より多くの皆様に感染防止対策の協力願いが来ており、協力につきましてよろしく申し上げます。

- 基本的な感染対策はこれまで同様、「手洗い」「マスクの着用」「換気」が重要でありますので、これらをしっかりと踏まえて進めてまいります。
- そのうえで、常に注視しているのが市内の医療体制であります。釧路市医師会をはじめ釧路保健所、医療従事者の皆様には、この2年間医療体制の確保にご尽力をいただき、まさに、お一人おひとりのご尽力であり、あらためて感謝申し上げます。
- こういったものにしっかり応えるためにも、感染防止対策をお願いいたします。

## 2. 話題提供（3項目）

### 1. 新型コロナワクチンの接種について

- 新型コロナワクチンの接種についてです。
- 毎週ワクチンの接種状況等につきましては、公表しておりますが、現段階で公表している内容、予定等につきましてお話しします。
- 3回目のワクチン接種につきましては、6カ月経過した方へ、予約状況に応じて、順次、接種券を送付しております。
- 3回目接種の予約状況につきましては、ファイザー社製とモデルナ社製がありますが、モデルナ社製の方が多く納入されており、納入状況に応じて予約可能状況をお示ししています。
- 現在は、ファイザー社製のワクチンにつきましても4月13日（水曜日）まで予約が可能です。ファイザー社製は、予約開始後3日程度で予約が埋まっています。
- モデルナ社製のワクチンの予約につきましては、4月24日（日曜日）までの予約が可能です。
- 両ワクチンにつきましては、効果が示されているものでありますので、3回目の接種につきましてよろしくをお願いいたします。
- 5歳から11歳の方へのワクチン接種につきましては、2回の接種が必要で、1回目接種から3週間の期間をあけて、2回目を接種いたします。
- 現在、4月末までの予約は埋まっております。次回の接種日は、5月6日（金曜日）から6月18日（土曜日）までとなっており、週明けの4月4日（月曜日）から予約開始となります。
- 最初の予約は、1,900回分（約1,000人分）でしたが、今回は、約2,600回分（約1,300人分）に拡大しております。

- スケジュールや詳しい内容につきましては、釧路市のホームページにてご確認ください。
- 予約につきましては、インターネットやコールセンターで変わりはございません。

## 2. 最大クラスの津波浸水立体画像の公開について

- 続いて、最大クラスの津波浸水立体画像の公開についてです。
- 令和4年3月11日に、北海道より「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、津波浸水想定 of 浸水深に、津波が建物等に衝突した際のせき上げ高を加えた「基準水位」が公表されました。
- 今回この「基準水位」を視覚的に分かりやすくするために立体（3D）画像を「Google Earth（グーグルアース）」を活用し作成しました。
- 公開時期につきましては、4月の中旬頃に公開するよう準備を進めているところであります。

### 【サンプルデータによる実演開始】

※実演の詳細につきましては、YouTube動画でご確認いただけます。

[https://youtu.be/NUR2\\_3iYC5Q](https://youtu.be/NUR2_3iYC5Q)

- まずは、釧路市のホームページに掲載している「最大クラスの津波浸水立体画像」を開きます。その際、「Google Earth」のソフトのダウンロードが必要になります。
- 次に、津波の立体画像の見たい地区を「五十音順」または「地図上」から選択します。
- 「五十音順」につきましては、町名ごとに120カ所に分割しています。
- 今回は地図上で選択する方法をお見せします。サンプルデータで黒金町6丁目から14丁目のデータを選択してダウンロードします。
- 建物に「基準水位」データが重なり、視覚で分かりやすい形になります。視点は上下左右に変えることも可能です。
- 浸水データの地点をクリックすると、その地点の「基準水位」が表示されます。
- 更に「一時避難場所」データをダウンロードしていただきますと、指定している「一時避難場所」のマークが表示され、クリックするとその情報を見ることが可能となります。
- また、隣接する地区をダウンロードしますと、同時に浸水状況を閲覧することが可能です。

- 4月中旬を目途に公開を予定していますので、準備が整い次第お知らせいたします。  
【サンプルデータによる実演終了】
- 現在、一時避難場所につきましても確保していますが、まだまだ、一時避難場所としての適地がありますので、検討してまいります。

### 3. 釧路市音別地域交流拠点施設のオープンについて

- 続きまして、釧路市音別地域交流拠点施設「ルート38音別館おんぽーと」についてです。
- 4月24日（日曜日）に供用開始となります。
- 愛称を募集したところ235件の応募があり、その中で「ルート38音別館おんぽーと」に決定し、命名したところであります。
- この施設の中には、「富貴紙」の製造設備や、地域の特産品などを販売するコーナー、地域の情報を発信する機能を設けるほか、商工会や金融機関、コミュニティバス停留所を配置することで、地域住民の利便性向上が図られるとともに、地域内外の人々が交流できる場の提供として考えております。
- オープンセレモニーについては、4月24日（日曜日）午前10時から開催いたします。
- また、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、規模を縮小した形での開催を考えております。
- 内容としましては、関係者をはじめ、愛称決定者を招待します。また、ヒートボイスによる「おんべつのイメージソング」の披露、露汁や牛乳の無料提供（数量限定）などを予定しております。
- 4月24日（日曜日）にスタートいたしますので、多くの方々に訪れていただきたいと思っております。

### 3. その他（1項目）

#### 1. 路線バスにおける電子マネー「WAON」決済の利用可能路線拡大について

- 次に、路線バスにおける電子マネー「WAON（ワオン）」決済の利用可能路線拡大についてです。
- 本日4月1日（金曜日）から、電子マネー「WAON」決済の利用可能な路線が拡大します。
- 市内を運行する全51路線のうち、41路線で「WAON」決済の利用が可能となったところです。

- また、今回の利用可能路線の拡大に当たり、現金しか使えなかった「おでかけパスポート70」の利用者の皆様についても、新たに「WAON」による運賃支払いが可能となります。
- 今後も電子決済の導入を進めてまいりますとともに、デジタルトランスフォーメーションということで、様々な利便性の確保に取り組んでまいります。
- まさにデジタル化というものが、単なる行政の効率化ではなく、利用者の方々に利便性を感じていただき、そのことで笑顔が出てくる取り組みに結び付けていけるよう、随時、スピード感を持って進めていきたいと思っております。

### 3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 津波浸水立体画像の公開について、地域防災効果の活用や学校の防災教育で活用する際は、デモ表示をしてもらうというイメージですか。

(市長)

- ・ 個別にダウンロードしてお使いいただけます。

(質問)

- ・ スマートフォンでも使えますか。

(防災危機管理監)

- ・ スマートフォンでの使用については、現在、業者と確認しているところで、5月くらいには使えるようになるのではないかとのことです。

(質問)

- ・ 音別の交流拠点施設で説明のあったヒートボイスの音別のイメージソングは、音別で流す予定はありますか。

(音別町行政センター地域振興課長)

- ・ おんぼーとや行政センター内で流すことも含め、活用方法を検討しています。

(質問)

- ・ ワクチン接種について、3回目接種が始まってから約2カ月が経とうとしておりますが、予約状況やワクチン接種スピードなどについて、市ではどのように見えていますか。

(健康推進課課長補佐)

- ・ 4月1日から4月24日分では、ファイザーが7千回分、モデルナが1万5千2百回分となっています。

(市長)

- ・ 前回はファイザーの納入量が全体の25%でありましたので、今回増えております。接種体制は1週間で8千回でありますので、6カ月経過した方に接種券を送付し、期間の中で無駄が生じないように予約の受付を進めているところです。そういった中で、ファイザーについては3日、4日で予約がいっぱいになってしまう状況であり、モデルナの予約状況については、1万5千2百回分のうち5千2百回分の予約が入っている状況です。

(質問)

- ・ 釧路火力発電所の騒音問題について、近隣住民が困っている話を聞いており、取材を進めているところでもあります。火力発電所も防音壁を設置するなど対応していますが、市長としてはこの問題についてどう受け止めていますか。

(市長)

- ・ どのような形で進めていくかについては、一つは法律的な形で考えていくものがあります。併せて市長という立場で、市民の生活を踏まえた中で進めていくものがあります。ここの中でこういった形で進めていくかが重要であると考えております。このことから伺った意見は速やかに会社の方へ伝えていきながら進めております。火力発電所側からも真摯な対応や対策をいただきながら進めているところであり、私どももこの立ち位置で進めていきたいと考えているところでもあります。
- ・ その上で、法律的な部分につきましては、ルールや定義があります。その中で様々気になってくることは現実の話だと考えています。そういった中で我々は市民生活や市民の方の思いを深く受け止めていきながら、合わせて会社側からも誠意を持って丁寧に対応いただいていると思っており、今後もしっかり続けていきたいと考えております。

(質問)

- ・ 公害防止協定を結ばれていると思います。協定の中では年に1回騒音やそれ以外も調査されていると思いますが、その回数を増やすなどは検討できるものでしょうか。

(市長)

- ・ 先ほども話しました通り、行政は法律などを考えた中でこういった対応をとるかという重要なことがあります。その中で協定やルールがあると考えています。それとは別に様々な考え方や気になる部分があるということは現実だと思っています。そういった中で、しっかりとしたルールに基づいたことに対応していくことは当たり前の話であり、現場の中で市民の皆様いただいた声に対して、会社側に話をしていきながら、会社の方にも対応していただいている状況でありますので、そこを踏まえていくことが重要と考えています。

(質問)

- ・ 先月、株式会社釧路火力発電所の社長が来まして住民説明会を開き、今後の対応を説明されたと思いますが、市としてはこの対応についてどのように考えていますか。

(市長)

- ・ 先ほどからご説明していますように、行政としての基準やルールにどう対応しているかがひとつあります。それともう一つ、様々な人の気持ちや感情というものがあります。それらに対して市としてどのように対応していくのかということで、行政のルールに従ってしっかり対応していくということは当たり前のことであり、併せて我々は現場ですから、市民生活に直接関係していますので、市民の声を会社に伝え、会社側に丁寧に対応いただくことを繰り返しながら行っている状況でございます。

(質問)

- ・ 「支所のあり方」住民説明会について、5月13日までに残りの6回の説明会を実施し、すでに開催した3回と合わせて合計9回という予定ですが、その説明が終わった段階で、開催状況のとりまとめや一定の方向性など、市は示す予定は

今のところありますでしょうか。

(市長)

- ・ 市民の皆様よりしっかりとご意見をいただきながら、検討していく形になります。
- ・ 初めの1回目の説明会から出ていたご意見で、委任状と職権を用いて住民票などを取得する人達が約4%いらっしゃるということについて、当初の検討の中では入っていなかったことを、議会の中でも話させていただきました。そのこともあり、委嘱状と職権を用いた利用がどのくらいあるのか、そのカウントを2月くらいから取り始めたところです。
- ・ マイナンバーカードを用いる際には、実はそのことを想定しておりませんでしたので、どのような対応ができるか、国に問い合わせているところです。そのことも踏まえ、いろいろと考えていかなければいけません。当初は内部でも検討してきておりましたが、現状の認識不足のところもありましたので、そのことも踏まえ、その中でどのような対応がとれるのかを、しっかり考えて進めていかなければなりません。
- ・ 説明会終了後に、次にどうするのかを示す前に、検討しなければいけないことが出てきているというのが現状ですので、説明会が終わって、すぐに方向性を示すということは、難しいと考えています。

(質問)

- ・ ロシア関係で、水産業界の現状と見通しがあれば伺いたい。

(市長)

- ・ 現場として情報は収集しているところであります。現状としましては、まだ顕著な影響は出ておりませんが、先々の状況を見ると不安な状況になっていると考えております。これらを踏まえますと、いち早く収束していただきたいと思うとともに状況を把握していきながら地元の企業と連携していくことが必要と思っています。

(質問)

- ・ 釧路市はホルムスクとカムチャスキーと自治体間で交流されておりますが、新年度予定されている事業で影響を受けるものはございますか。

(市長)

- ・ 姉妹都市の交流につきましては、予定しているものはございません。
- ・ 議会でも説明しておりますが、政権が行っていくものと国民が行っていくものを一緒にするべきではないと考えております。プーチン政権が行っていることには明確に反対していますが、一つ一つの事を見直していくことは違うと考えております。